

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：宮城県道路課
担当課長名：伊藤 直司

事業名	一般国道 113号 館矢間バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	宮城県	
起終点	自：宮城県伊具郡丸森町館矢間 至：宮城県伊具郡丸森町新町		延長	2.8 km			
事業概要	一般国道113号は、新潟県新潟市から福島県相馬市に至る総延長238 kmの広域幹線道路であるとともに、地域内ネットワークを形成する重要な道路である。館矢間バイパスは、市街地内の急カーブ、幅員狭小・老朽化橋梁及び慢性的な交通渋滞を解消して幹線道路機能を強化するものである。						
H8年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)		H9年度用地着手	H14年度工事着手			
全体事業費	100億円		事業進捗率	43%		供用済延長	0 km
計画交通量	10,740台/日						
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 2.5 (残事業) 5.2	総費用 (残事業)/(事業全体) 48/100億円 事業費：45/97億円 維持管理費：3/3億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 248 / 248 億円 (走行時間短縮便益：216/216億円 走行費用減少便益：18/18億円 交通事故減少便益：14/14億円)	基準年 平成17年			
事業の効果等	・国土・地域ネットワークの構築（宮城県と福島県を最短で連絡する路線を構成する） ・災害への備え（緊急時の一次緊急輸送路） 他 11項目に該当						
関係する地方公共団体等の意見	地元丸森町のみならず、国道沿線自治体の首長（12市町）で構成される「山形・宮城国道113号整備促進期成同盟会」（平成17年10月6日要望）及び丸森大橋橋梁新設促進期成同盟会（10市町）より早期整備の要望を受けている。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	丸森大橋架橋地点付近に、丸森町が観光船の発着所を中心とした「川の駅」と「道の駅」とを一体的に整備することを考えている。						
事業の進捗状況、残事業の内容等	進捗状況：用地は一部未了。工事は、現在2つの橋梁で下部工を施工中 残工事：丸森大橋下部工1基・上部工、丸森2号橋上部工・下部工						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	もっとも工期を要する阿武隈川にかかる丸森大橋については、下部工施工が平成19年度には完了し、引き続き上部工施工と鋭意順調に進めている。						
施設の構造や工法の変更等	橋梁部材に耐候性鋼材を使用することで完成後の維持管理費の軽減を図り、また舗装路盤材にはリサイクル材を使用してコスト削減を図るとともに、環境面にも配慮している。						
対応方針	対応方針決定の理由 以上を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。						
事業概要図							

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。